

かかりつけ薬局が安心

つむじ風吹く師走の街に慌ただしさが感じられる頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

2022（令和4）年もコロナ感染症が猛威を振るい、お体のことについて何かと気になるところ。皆さんはお体のことを何でも相談できる「かかりつけ薬局」をお

持ちですか？

薬局では、処方箋による調剤だけではなく、市販薬や健康食品、介護関連商品の取り扱いや、相談なども行っています。

例えば、風邪のひき始めや発熱したときは、薬剤師が症状に合わせて適切な市販薬を選ぶお手伝いをします。時には病院への受診をお勧めすることもあります。

病気に伴って複数の薬局に行くのではなく「かかりつけ薬局」を一つ決めることで、お薬を安全で安心に使用していただくことができます。

かかりつけ薬局は複数の医療機関から出された

処方薬や市販薬など、皆さんが使用している薬の情報をまとめて把握し管理します。それにより、同じ内容の薬が処方されたり、相互作用が起こるのを防ぎます。



談に応じています。

お薬をお渡しした後、健康状態を確認してその様子を主治医にお伝えしたり、皆さんの残薬（手元に残っている薬）の確認も行います。

お薬だけでなく、広く健康や介護に関する相談に、普段から利用できる薬局があると安心です。「かかりつけ薬局」として一つ決めておかれてはいかがでしょう？

23（同5）年はより一層、皆さまが健康であり、すてきな笑顔で過ごせますように。

（薬剤師 西 美香）

薬
よもやま話

[85]

松阪地区薬剤師会

また、薬が効いているか、副作用がないかなども継続的に確認できます。最近では、休日や夜間など開局時間外も、電話でお薬の使い方や副作用など、お薬に関する相